

久万高原町で2組織が知事表彰受賞

【優良農山漁村生活研究組織知事表彰】～しだれ桜グループ～

久万高原町父二峰地区で生活研究活動に取り組んできた「しだれ桜」グループ（会長：佐々木留美 会員3人）は、愛媛県優良農山漁村生活研究組織知事表彰を受賞しました。

同グループは、地域の農産物などを活用した漬物や菓子類等の加工販売に取り組むほか、10年以上にわたり地元小学校児童を対象に、学校ほ場を活用した水稻や野菜栽培の支援や郷土料理教室の開催、また、幼稚園児保護者を対象に、郷土料理の伝承や子育て世代への助言に取り組んできたことなどが高く評価されました。



表彰状授与式にて（佐々木会長）



幼稚園児保護者への雑穀料理の伝承

【優良農業実践集団知事表彰】～久万高原町青年農業者連絡協議会～

久万高原町の若手農業者で組織する「久万高原町青年農業者協議会（会長：森 優樹、会員32人）」は、愛媛県優良農業実践集団知事表彰を受賞しました。

“天空ファーマーズ”の愛称で活動し、久万高原町の農業や青年農業者のファンを増やすため、会員らの作業風景や久万高原の自然を収めたフォトブックの作成・配布を行ったほか、道の駅で写真展の開催やイベントで自ら生産・商品化したトマトジュースの試飲を実施し、味のPRにも努めました。また、新た取組みとして、県結婚支援センターと連携した婚活イベントを実施するなど幅広い地域活性化活動が高く評価されました。



表彰状授与式にて（森会長）



林業まつりでの来場者との交流

久万高原町青年農業者連絡協議会の活動を紹介します！

【久万高原町青年農業者連絡協議会の紹介】

- ・会長：森 優樹、会員：32人（うち女性5人）、新規参加者が多いのが特徴。
- ・「天空ファーマーズ」の愛称で活動しており、半数以上の会員が町特産のトマトを栽培しているほか、水稻やピーマン、りんごも栽培している。

～みかん収穫支援で青年農業者間交流～

コロナ禍の影響で南予地域のみかん収穫時の労働力が不足していることから、県青年農業者連絡協議会の要請を受け11月17日、八幡浜地区青年農業者のみかん園地で収穫を支援しました。

当日は、13人が参加し、3班に分かれて互いの地域や栽培作物等について情報交換をしながらみかんを収穫しました。

受入れ側の青年農業者からは、「普段から農作業をしているので手際もよく、とても助かった」、ボランティアに参加した青年農業者からは「初めてみかん収穫をし、良い経験になった」との声が聞かれ、青年農業者の絆が深まりました。



受入れ式にて



共に作業する青年農業者



八幡浜地区の青年農業者と

～医療従事者を応援！トマトジュースを贈呈～

「新型コロナウイルスの医療機関として最前線で頑張っている医療従事者に何か支援できないか」と同協議会が、久万高原町や久万高原農業指導班と相談し、会員が栽培したトマトのジュース300本を12月24日に県立中央病院へ贈呈しました。

贈呈式では、同協議会会長が「自分たちの想いを込めたトマトジュースを飲んで、ホッと息抜きしてほしい」と述べ、菅院長からは「栄養満点のトマトジュースは職員も喜ぶ」と感謝の言葉が述べられました。



会員がラベルを貼りました



贈呈式で菅院長と



皆の想いが詰まったトマトジュース